

## イカナゴ（コウナゴ）情報 No. 2

▶ 4月30日時点の主体は体長20mm台後半が主体で、前年（30mm台後半から40mm台前半主体）よりも小さいサイズが多くなっていました。

中央水産試験場  
後志地区水産技術普及指導所岩内支所

### 調査の概要

初漁日の後、4月29日～4月30日に採集していただいた、島牧海域のコウナゴ漁獲物標本の体長を測定しましたので、お知らせします。

### コウナゴの体長の推移（下図）

初漁日（4月27日）に漁獲されたコウナゴの体長は27mmが最も多くなっていました。その後4月29日に28mm、30日に29mmへと成長しました。前年の4月30日の体長は、41mmが最も多く、次いで39mmが多くなっていました。また、体長組成の特徴として、前年は、40mm前後を主体として、20mmから40mmの幅広い範囲に複数の山を持つ組成でしたが、今年は、主体となる30mm前後の山に加えて、後続の20mm前後の小さな山で構成されていました。

### 今後の成長について

成長速度は、1日あたり0.7mmと例年並みで、前年（0.8～1.0mm）よりも遅くなっています。このままの速度で成長すると前号でお知らせしたとおり、5月中旬には40mm前後に成長すると考えられます。

今漁期は荒天により出漁出来ない日が多く、現時点で5月に入ってから漁獲物標本が得られていない状況です。次回のコウナゴ情報は5月中旬頃にお知らせしたいと考えております。今後ご協力をよろしくお願いいたします。

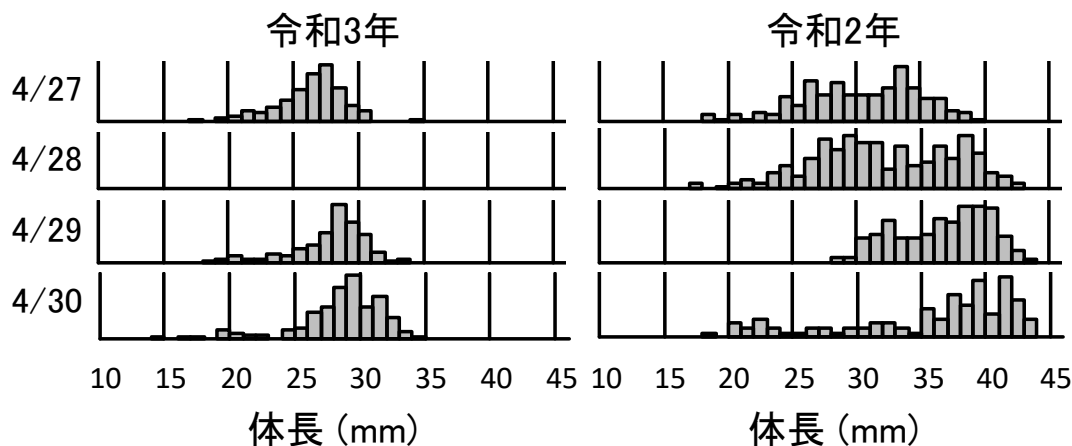


図 コウナゴの体長組成の変化